

あいの広場

2月届出分

- お誕生おめでとう（敬称略）
- （出生児）（保護者）（公民館）

栗 牧 蘭	裕 幸	湯 田 原
H15. 1.2生まれ		
下大迫 拓 海	隆 史	上下大迫
H15. 1.28生まれ		

- おくやみ申し上げます（敬称略）
- （死亡者）（届出人）（公民館）

満 尾 フヂエ	84	中園恵子	鶴 宮 園
東 吉 春	92	悟 郎	下京塚原
園 田 フ ミ	75	迫 善光	東湯田原
井 上 頼 光	64	ミツ子	種 子 田

善意の灯火（2月分）

- 香典返し（敬称略）
- （寄付者）（公民館）

原 園 法 雄（故 清）	京 塚 原
中 園 恵 子（故満尾フヂエ）	外
東 悟 郎（故 吉 春）	下京塚原
園 田 芳 男（故 フ ミ）	兵 庫 県
井 上 ミツ子（故 頼 光）	種 子 田

休日在宅医

4月 6日	海江田医院（外科）	53-0006
	市比野温泉医院（内科）樋脇町	38-0037
13日	医師会病院（内外児）	53-0326
20日	小緑内科（内科）	52-1676
	木脇医院（内科）東郷町	42-0141
27日	木原医院（外科）	52-2700
29日	林田内科（内科）	53-1177
	黒木診療所（内科）祁答院町	55-0056
5月 3日	国吉内科（内科）	53-1451
4日	溝口整形外科（整形）	52-4668
	副田クリニック（内外児）入来町	44-5777
5日	相良医院（内児）	53-0160

世帯数と人口

2月28日現在住民基本台帳

世帯数	1,842戸	（前月比 +2戸）
人 口	5,031人	（前月比 +4人）
男	2,372人	（前月比 +3人）
女	2,659人	（前月比 +1人）



ふるさと いいとこ歩き

鶴田郷の地頭仮屋跡

今から350年ほど昔の江戸時代の中期、島津藩は、鹿児島城を本城とし、領内を100余に区画した外城制度をつくりました。後、郷と呼ぶようになりました。

郷は、いくつかの村でできていましたが、鶴田郷は、鶴田村・神子村・柏原村・紫尾村の4村でできていました。

郷の政治の中心地に武士郷士が配置され、そこを麓と呼んでいました。

麓の役所は、地頭仮屋とか地頭館と呼ばれ、地頭には、島津藩でも身分の高い人が選ばれていました。

普通、地頭は鹿児島に居て、特に必要な時だけやってきて政治にあたりました。

そんな地頭のことを掛持地頭の遷任と呼んでいます。鶴田の地頭は遷任地頭でした。

地頭仮屋（地頭館）は、地頭が鶴田に来たときの宿舎ともなっていました。

かねて、地頭不在中の政治は、地頭に選ばれた麓でも身分の高い郷士が地頭仮屋で郷の政治にあたりました。

郷政のまとめ役を、商業や事故の究明、検察関係の仕事は横目、軍事的訓練や郷士の取締りの仕事は組頭と呼び

ました。この三者を所三役（郷の三役）といいます。

三役で判断できないことは、鹿児島に向いて伺いました。

三役の下に、書役、普請（工事）見廻、触役、溝見廻、楮見廻、竹木見廻、野町（商人町）の長を部当、山林見廻の仕事は行司等々、多種多様の役職がありました。

鶴田の地頭仮屋跡は、明治5年以降も政治の中心でしたが、そこに建っていた役場も湯田原に移転しました。



地頭仮屋跡